

2008.11.14 高等学校だより

Vol. 74

秋田工業高等専門学校



飛行ロボコン・ソーラーカーレースで本校チームが優勝

【第3回全日本学生室内飛行ロボットコンテスト】（日本航空宇宙学会主催）に初めて参加した秋田高専チーム（生産システム工学専攻1年、神馬義貴君、湯川啓介君、指導教員岡本正人准教授）が、飛行機部門において大会新記録で全国優勝しました。

秋田高専チームの設計・製作した飛行機「Mayfly（メイフライ）」は、昆虫の羽からヒントを得た長方形で丸みを持った形状です。安定性の高い飛行とともに独創的なアイデアが関係者の注目を集めました。

また、7月に大潟村で行われた「2008ワールド・ソー

ラーカー・ラリー」においては、本校エコレース部の「颯」（ドライバー：生産システム工学専攻2年瀬浪健君、マシン制作：同2年神馬義貴君、辻尚史君ほか、指導教員本澤悟准教授、今田良徳助教）が「ソーラーバイク・レース」Sクラス（ソーラーパネル、バッテリーでのみ走行）、耐久ラリー・オープン（一般）の部に出場し、専用周回コースを7周、4時間49分14秒で走り抜け見事に優勝を果たしました。

秋田高専の学生は、このように学外の様々な大会へ積極的に参加し、幅広い分野へと活躍の場を広げています。